

# トップランナー変圧器について

2003年4月1日よりスタートした省エネ法に盛り込まれている「トップランナー方式」とは変圧器の種類ごとに基準値を設定し、達成年度を定めて、エネルギー消費効率を高めていくように普及促進する制度です。

2014年4月1日からは、第二次判断基準が施行され、省エネ性能が大幅に向上された「トップランナー変圧器」へ変更となりました。

適用変圧器	除外変圧器
油入変圧器、モールド変圧器 一次電圧: 6KV又は3KV 二次電圧: 100V~600V 単相 10~500KVA 三相 20~2000KVA	ガス絶縁変圧器 H種乾式変圧器 スコット結線変圧器 モールド灯動変圧器(油入は適用) 水冷又は風冷変圧器 多巻線変圧器 電力会社向け柱上変圧器

弊社は、創業より一貫してアモルファス鉄心を採用した、高効率変圧器の販売をし、エネルギー消費の無駄を無くすることを通じて、CO2の削減と地球温暖化防止に寄与してまいりました。

アモルファス鉄心変圧器は無負荷損(鉄損)が少ないため、新基準を悠々してクリアしております。

尚、太陽光発電、風力発電のような昇圧変圧器は上記トップランナー2014の対象外ですが、弊社変圧器は全て準拠しています。

また、こうした平均負荷率が比較的低い再生可能エネルギー用では、電力会社への電力の販売(売電)電力会社からの購入(買電)の両面においてメリットがあります。